

八幡平市教育委員会会議録

令和元年8月23日（金）

八幡平市教育委員会

和元年 8 月八幡平市教育委員会定例会会議録

1. 開催日時

令和元年 8 月 23 日（金）午後 3 時 00 分から午後 3 時 30 分

2. 場所

八幡平市役所 3 階 大会議室

3. 出席者

教 育 長	星	俊 也
委 員	宮 野	朋 士
委 員	高 橋	優 子
委 員	伊 藤	政 行

4. 欠席者

委 員	羽 沢	憲 英
-----	-----	-----

5. 説明等のため出席した職員

教育総務課長兼給食センター所長兼図書館長	工 藤 久 志
教育指導課長兼教育研究所長	川 村 憲 弘
教育総務課長補佐兼総務係長兼給食センター副所長	佐々木 由理香

6. 傍聴者

なし

7. 開会

それでは、ただいまから令和元年 8 月定例教育委員会を開催させていただきます。よろしく願いいたします。

8. 教育長あいさつ要旨

7 月定例会後の主な行事等について報告

- 1) 8 月 1 日（木）岩手県緑の少年団大会が岩手県民の森で行われた。寄木小の演奏で入場。松尾中・柏台小等々の子供たちが参加した。
- 2) 8 月 2 日（金）子どもリーダー研修会が行われ、宮野会長さんのご指導のもと、小学校 5 年生 60 名、中学校 2 年生 20 名の計 80 名が集まり、今年も充実した研修会となった。
- 3) 8 月 7 日（水）中学生 8 名で中身の濃いイングリッシュキャンプが行われた。
- 4) 8 月 9 日（金）平舘高校の同窓会の声かけで、岩手県立高校再編後期計画

に関する懇談会が行われ、オブザーバーとして参加した。そこで出てきた主な意見として、普通科1学級減、入学生の大幅な減という状況の中、平館高校の魅力が、市民、特に中学生に伝わっていないのではないか。もっともっと魅力を伝える方法を考えるべきである。

家政科学科という名称の変更を検討する必要はないか。どうしても女子の受け皿という印象が強く、八幡平市の観光業だったり、そういったものに繋がるんだ、というような認識が得られていない。

中学校の進路指導の工夫も必要である。県立高校の1次で落ちてしまう子が、盛岡管内で600名いるわけだが、そのほとんどが私立に流れてしまい、2次募集しても平館高校に入って来ないという現実がある。そこで、進路指導の方の声がけであったり、魅力を伝えるということがないと、どうしても、滑り止めの私学に流れていってしまっているのではないか。進路指導ということで、中、高の連携について問われている。

家政科学科が、文部科学大臣賞の全国1位の評価をいただいているが、そういった発表を、中学生が直接聞くような機会があっても良いのではないかというのがあった。

盛岡市内の私立高校は海外旅行ができるとか、いろいろな魅力を発信している訳だが、平館高校の場合は、例えばタイのタマサート大学との交流を生かして、高校3年生の修学旅行はタイへ全員行けるとか、そういったことを打ち出してもいいのではないかという、様々な意見が出された。

私からの提案として、広報はちまんたいを活用して、2か月に1回程度広報の1ページを使うような、例えば「平高の窓」というようなコーナーを設けて、平館高校の取り組みとか活躍の様子を、どんどん紹介していくというようなことがあってもいいのではないかということで、多くの方からも賛同を得られ、市長・副市長からも「いいな、それやろう」ということで、早速企画の方で動いている。

- 5) 8月12日(月) ウガンダとの交流会。
- 6) 8月15日(木) 八幡平市成人式
- 7) 8月19日(月)・22日(木) 高校の再編計画に関わる県の検討会議、それから意見交換会が一般の方々が参加して持たれた。この意見交換でも地域の方々から様々な意見が出されたが、主だった2点を紹介する。

高校存在そのものが、まちづくりの中に組み込まれている。その高校の消滅は、地域の衰退を招くという危機感を、県の教育委員会はずっと強く持つべきだという意見があった。それから、来年度学級減の予定だった、三高と不来方高が延期になっている。なぜ延期するんだと、雫石高や平館高は予定通り減にしたではないか。中心にある学校であっても予定通り進めていかないと、周辺部だけ学級が減って、中心部のみ残るという状況になってしまう。そうであってはならないと、全体としての調整を図るべしというような意見が強く出された。

9月の主な行事について報告

- ・八幡平市生涯学習推進大会
- ・八幡平市防災訓練
- ・田山小学校公開
- ・岩手地区中学校の駅伝大会
- ・小学校陸上記録会。
- ・江間章子賞選考委員会

9. 報告事項の要旨

(教育総務課)

・8月1日の臨時市議会で、財産の取得で松尾地区のスクールバスの更新に係る案件について議決いただいた。

・冷暖房の設置工事に係る案件は、西根地区の機械設備工事について、(株)遠忠と1億9,980万円で契約した。電気工事は1億7,431万円で盛岡の業者山田電設と契約した。松尾・安代地区の電気、機械設備工事については、8月2日契約、3月27日までということで工事に着手いただく。先日、業者、学校側との全体の工事打ち合わせ会を行っている。今後は、学校と業者が打ち合わせをして、工事の進め方の詳細を調整しながら、円滑に進めてもらえたらと思っている。懸念されるのは機器の納入についてだが、3カ月程度で納入される見込みなので、早いところで年内には、完了する学校も出てくるのではと考えている。

・ルワンダの選手との交流会では、市内の各団体さんからも参加いただき、市の楽団が演奏したりと、気持ちよく帰国されたものと思う。

・3回定例会は9月5日開会で、10月4日までのほぼ1か月という長丁場となるが、間には敬老会もある。一般質問については、9月17日から19日までの3日間で行われる予定である。補正予算では、柏台小学校の地下タンクの改修に係る修繕費を計上しているところである。

(教育指導課)

・各学校夏休み中大きな事故等もなく、今週から2学期がスタートした。

・2学期は最も長い学期であり、様々なスポーツや文化的な行事、あるいは学校公開等があることから、子ども達が存分に活躍するとともに、様々な経験を生かして、力をつける学期であると認識している。1学期の成果を生かし、さらに充実した教育活動が展開されるよう、学校を支えていきたいと考えている。

・夏季休業中の事業について、7月29日30日の2日間、市内の小中学校の先生方を対象に「教育研究所公開講座」を行った。中身としては、学校経営、特別支援教育、教科指導として道徳・外国語・算数・国語の4つ。ふるさと理解講座、今年度は地熱発電所、中和処理施設を見学した。子どもたちを連れて行く機会が多い施設だが、先生方にも見てもらう必要あるかなと思いい、ふるさと理解講座として見学してきた。7つの講座に124人の先生方が

参加し、熱心に研修している様子が見られた。それから8月7日市役所で、「イングリッシュキャンプ」が行われている。今年も4人のALTにお願いし、企画から運営までやっていただいた。中学生が8名参加し、夏休みの思い出を基に、ストーリーブック（ミニ冊子）を作成する課題に取り組んだ。英語検定を受ける子を対象に、面接練習等も行った。1日いっぱい、朝から午後までたっぷり英語に浸っていたし、アンケートを見ると、どの子も「英語が話せるようになった気がする」というコメントがあった。

・2学期は、様々な事業等目白押しである。来月は早速先陣を切って、田山小学校の学校公開が、9月4日に予定されている。他の学校含めて、児童生徒、教職員意欲的に取り組んで、成果を残すことが出来るよう支援していきたいと考えている。

9. 報告事項についての質疑

なし

10. 議事

議案第1号 「平成30年度八幡平市教育委員会の主要な施策への取組結果に関し、議決を求めることについて」

11. 議事の概要

○星教育長

議案第1号「平成30年度八幡平市教育委員会の主要な施策への取組結果に関し、議決を求めることについて」を事務局から説明をお願いします。

○工藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○星教育長

ありがとうございました。

議案第1号について説明がありました。説明に関しまして、質問等ありましたならばお願いいたします。

○伊藤委員

年度計画の中に、小中学校の再編成のことは載ってませんでしたか。

○工藤教育総務課長

取り立てて、市教委と地域懇談会を深めたという、そういうケースもなかったものですから、基本方針では保護者や地域住民との共通認識を図るという表現の方針であったので、機会を捉えて保護者等との情報交換はやっておりますが、市教委主導による地域住民との懇談までには、至っていなかったというこ

とで、触れていないものです。

○伊藤委員

併設スタイルとか一貫スタイルとか、やっぱり研修しなきゃならないというふうに、一応認識してるんだけど、やっぱりそういう所の、よその状況も必要と思ってるんです。近い将来必ず、中学校からにしろ、やらざるを得ないような状況になるでしょからね。

○工藤教育総務課長

基本方針では、現計画の内容を検証するとしており、実際は内部で検証しておりますが、検討組織による検証には至っていませんでした。本年度は、保護者の意向を把握しながら、保護者や地域住民との懇談会で協議できれば、来年度にはそういった動きについて、報告に載せることが出来るのかなと思っています。ところでございます。

○星教育長

ご指摘いただきました再編計画適正配置については、今年度の取り組みを来年度報告する形になろうかと思えます。

そのほかありませんでしょうか。よろしいですか。

○伊藤委員

エアコンの設置が順調に推移しているようですね。

○工藤教育総務課長

繰越事業として本年度完了されれば、来年の報告には記載になると思えます。

○伊藤委員

盛岡市内の小学校でも、新学期からエアコン入ってたって、今日聞いてきました。

○星教育長

早い所はね。でも、なんか気候はエアコンいらぬですね。

○伊藤委員

冬も夏も両方兼ねた、エアコンがやっぱり良いと思いますよね。

○工藤教育総務課長

これから実際、調達する機器についての選定が出てきますけど、実際はやはり、暖房もドライ機能も備えた機器の方が、実際汎用しているので、冷房のみ

という機器の方がむしろ調達しにくいし、製造もしていないということであれば、補助要件でも、そこは暖房機能備えたエアコンでも可ということで伺っています。

○伊藤委員

暖房機能というのは、だいたい半年近く必要ですから。

○工藤教育総務課長

ただ、暖房使用は大量の電力を使いますから、初秋の肌寒い時期での使い方はあるかもしれませんが、本格的に暖房が必要な際は、暖房機器を使ってもらうこととなります。

○伊藤委員

今は猛暑、猛暑で本当に地球温暖化がどんどん進んで、ヨーロッパ 44 度なんてニュースで言ってるからね。やっぱり、これは絶対必要なんですよ。涼しくなっていく訳ないと思うから、やっぱりきちっとエアコン付けて、夏場集中して勉強出来る、スポーツする体育館が使えるような状態にしてあげなきゃダメだと思いますよね。

○星教育長

ありがとうございます。

それでは質疑を終結させていただいてよろしいでしょうか。お諮り致します。議案第 1 号「平成 30 年度八幡平市教育委員会の主要な施策への取組結果に関し、議決を求めることについて」を、原案の通り決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○星教育長

異議なしと認め議案第 1 号は原案の通り議決されました。ありがとうございました。

それでは 5 その他に入ります。事務局から何かありますか。

委員の皆さんから何かありますか。

(委員から「なし」の声あり)

はい。特にないようですので、これを持ちまして八幡平市教育委員会定例会の部を閉じさせていただきます。

ありがとうございました。